
中之島
JR弁天町
道頓堀川
大阪
ドーム
JR大正
難波
USJ
安治川
JR桜島
夢洲
甚平渡船
天保山渡船
天保山
尻無川
千歳
公園
落合上渡船
西
千歳渡船
コスモ
スクエア駅
南港大橋
落合下渡船
成
鶴町
恩加島
船町渡船
南 港
船町
木津川
住之江
公園
大和川

【記録】 大阪港の渡しwalk 2017.10.27.

大阪の街は淀川の河口に発達したいくつもの島や砂洲の上に発達した町。高度成長期に沖に南港の人口島が造成されるまでは、港も工場もみんな河口から奥へ川岸に沿って広がり、川筋をトラバースするため、川筋にはいくつも渡し場がありました。
大きな橋がいくつも建設され、バス・地下鉄ができた現在も、対岸へ渡るには公共交通や橋を渡るより渡しで渡るのが一番の生活手段である事情はかわっていない。

地図を見ると船が横付される工場群が川筋に並び、おいそれと橋が架けられず、高所を渡ってゆく橋を見上げれば、船の渡しの方がはるかに早く便利なのです。
自転車も一緒に乗れる渡しは通勤・通学・買い物そして近年は観光にも。



私にとってはいつも頭の片隅にしまいおかれている場所。 大阪市に勤めていた父が、退職後2度の勤めで通ったのが、大正橋の木津川沿岸で仕事する小さな会社の集まりの共同組合で、「大正橋」・「三軒家」・「泉尾」・「天保山」・「築港」・「安治川」 「市岡」「野田阪神」「九条」などの大阪港周辺の地名には今も親しみを感じているが、その大半には 名前ほど街中を意識して歩いたことがない。
また、大阪港の渡しには何度となく連れて行ってもらったが、その場所についての記憶もほとんどない。
みんな遠い小さなときの記憶で 名前・地名ほどにははっきりした記憶はない。
また、大学4年の夏現場実習で日立造船・築港工場に約1ケ月通ったのですが、そのすぐ横にも船町の渡船場がりました。

インターネットに大阪港の渡しのマップを見つけ、また思い出して 地図を引っ張り出して、今も残っている大阪港の渡し並びに港の街歩きをやってみたいと地図に 「自分の記憶を呼び起す大阪港の渡し巡りのコースを作りました。

今回は 挫折せずしっかり大阪港の渡し巡りのWALKをしようと 快晴になった10月27日の朝 神戸を出て
阪神電車なんば線に乗り、スタートに決めたJR西九条駅へ
一日大阪港の渡し場巡りで撮った大量の渡船場周辺のPhoto また どこかで記憶を呼び起す材料になればと
独りよがりの大阪港の渡しwalkのphoto album のファイルです。



南西の大阪南港　南港大橋を眺める



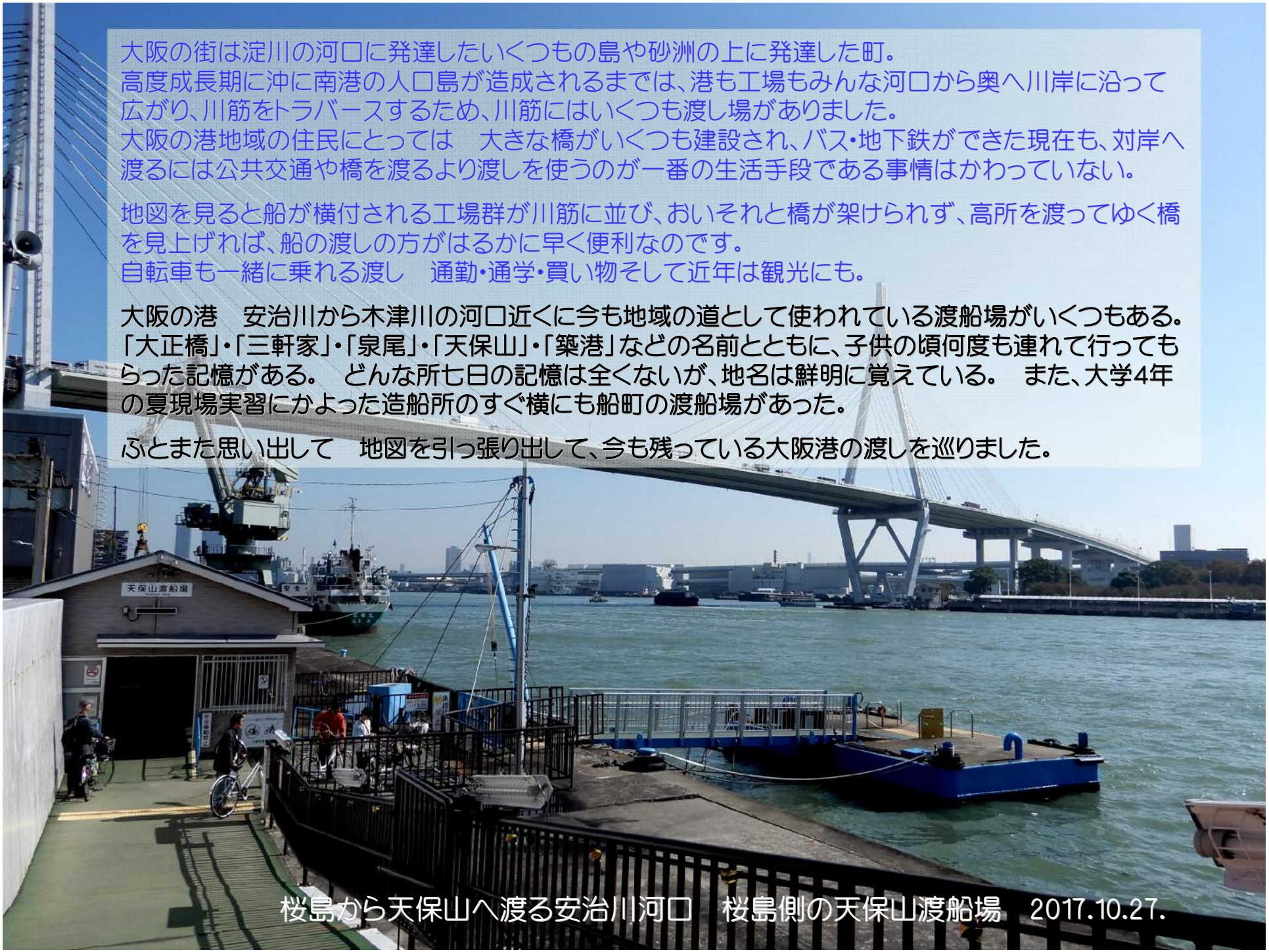
東南　大正内港から右端新木津川大橋

大阪湾に注ぎ込む幾つもの川の河筋に発達した大正内港など大阪の北港
その川筋をトラバースする生活道路として　今も市民の足として現役の渡し・渡船場
地名の記憶にはあるのですが、もう何十年も前･･･
ふっと思い立って　大阪港の川筋にある渡し(渡船場)巡りをしました

東北側　大正内港　背後に生駒山がかすむ手前　千歳公園　右端にアベノハルカスが遠望



2017.10.27.　大阪北港の渡し巡り　尻無川河口　大正内港に架かる千歳橋より周辺を眺める



大阪の街は淀川の河口に発達したいくつもの島や砂洲の上に発達した町。
高度成長期に沖に南港の人口島が造成されるまでは、港も工場もみんな河口から奥へ川岸に沿って広がり、川筋をトラバースするため、川筋にはいくつも渡し場がありました。
大阪の港地域の住民にとっては　大きな橋がいくつも建設され、バス・地下鉄ができた現在も、対岸へ渡るには公共交通や橋を渡るより渡しを使うのが一番の生活手段である事情はかわっていない。

地図を見ると船が横付される工場群が川筋に並び、おいそれと橋が架けられず、高所を渡ってゆく橋を見上げれば、船の渡しの方がはるかに早く便利なのです。
自転車も一緒に乗れる渡し　通勤・通学・買い物そして近年は観光にも。

大阪の港　安治川から木津川の河口近くに今も地域の道として使われている渡船場がいくつもある。「大正橋」・「三軒家」・「泉尾」・「天保山」・「築港」などの名前とともに、子供の頃何度も連れて行ってもらった記憶がある。　どんな所七日の記憶は全くないが、地名は鮮明に覚えている。　また、大学4年の夏現場実習にかよった造船所のすぐ横にも船町の渡船場があった。

ふとまた思い出して　地図を引っ張り出して、今も残っている大阪港の渡しを巡りました。

桜島から天保山へ渡る安治川河口　桜島側の天保山渡船場　2017.10.27.

神戸から阪神なんば線で西九条駅で　USJ 人気の路線JRゆめ咲線終点の桜島駅下車
桜島駅から大阪港の渡しwalkを スタート

JR桜島駅 → 安治川天保山渡船 → 尻無川甚平渡船 → 尻無川河口北港千歳渡船 → 木津川運河船町渡船
→船町から市バス北側の恩加島へ戻る → 木津川落合下渡船(往復) → 木津川落合上渡船(往復) →
→大正通・泉尾からバスで北の三軒家経由JR大正駅

大阪港にはほかに
◆船町から木津川河口を渡る木津川渡船　◆南恩加島から西成へ木津川を渡る千本松渡船
2つの現役渡船場も残っているが、今回は尻無川と木津川に挟まれた大正区の街中も歩きたくて、
パスしました。



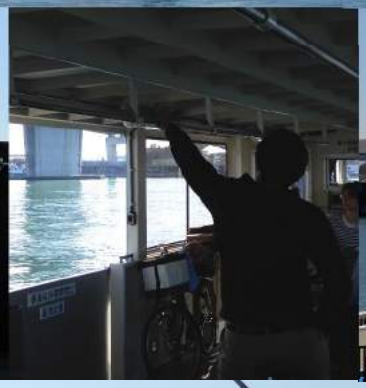
桜島から天保山へ渡る安治川河口　桜島側の天保山渡船場　2017.10.27.


甚平渡船場


落合上渡船場






千歳渡船場


船町渡船場


落合上渡船場


天保山渡船場


甚平渡船場

2017.10.27.


大阪港渡船場巡り　2017.10.27.
現在も「道」として地域の足
JR西九条
JR大正
難波
JR桜島
此花区
天保山渡
甚平渡
千島公園
落合上渡
千歳渡
落合下渡
大阪市
千本松渡
船町渡
木津川渡



2017.10.27.　JR夢咲線　西九条駅ホーム　　10:03

神戸から阪神なんば線西九条駅でJR夢咲線に乗り継いで、JR桜島駅へ　平日というのに桜島駅の一つ手前のUSJに向かう人たちでホームはいっぱい。 短い盲腸線ながらUSJができて人気のアクセス路線である。
かつては安治川河口沿いにある大工場群に向かう人たちで通勤時にはごった返した桜島線、通勤路線からUSJへ









桜島駅到着　10:18　ユニバーサルシティー駅で多くの人がおり、少し時間待ちして終点の桜島駅へ
桜島駅の外へ出る階段の窓からは天保山へ渡ってゆく高速道路湾岸線の大高架橋、すぐ前では広い
敷地が工事の真っ最中。　USJができて、この周辺が急速に発展しているのが手に取るよう。
でも　人影は少ない。







桜島駅の東側から南の安治川河口突端の天保山渡船場へ　　2017.10.27.

安治川を渡る高速道路の奥に南港大橋そして右奥には天保山の大観覧車が見える天保山へ渡る渡船場は道沿いに南へ進んで　高速道路を潜り抜けて、この地区の南東端　安治川の河口にある。　初めて行く場所に期待大

北花区から港区へ 安治川を東へ渡る天保山渡船場へ



南側より　JR夢咲線の終点桜島駅　2017.10.27.
駅前東側の広い道は駅の南側で直角にカーブして、USJの南側のフェンスに沿って西へ。
桜島の南東端にある渡船場へはいったんこの道を西に行って　次の信号から左手へ入る


桜島駅からUSJの道のすぐ西　桜島2丁目の信号を南におれて　桜島の南端へ







桜島2丁目の信号南桜島の南端部　奥に天保山の大観覧車･海遊館が見える街並み

桜島の南端部　もう工場街ばかりと思っていましたが、住宅の家並があるのにびっくり



正面に高い防潮堤がたちばたかり、道は行き止まり
防潮堤の壁に天保山渡船と書かれ、　自転車が防潮堤へ上がる坂を上ってゆく



桜島(此花区)側　天保山渡船場前　　2017.10.27.



桜島(此花区)側　天保山渡船場前　　2017.10.27.　10:31



対岸　橋の向こう側が天保山(港区)の船着き場　また、その横天保山の桟橋には
日本丸・海王丸2隻の帆船が停泊。大阪港も開港150年のイベントが行われていました





安治川河口　桜島(此花区)側　天保山渡船場　　2017.10.27.


天保山渡船場
Tenpozan Port
魚釣り
禁止
施設内禁煙
NO SMOKING



渡船は朝6時30分から夜8時30分まで30分毎
予想以上に便数が多いのにびっくり。
通勤時間はもっと多い。
十分に地域の足の役割が果たせる便数だ。
それに渡船は「道」なので乗船はただであり、
自転車の乗船も可である

また USJと天保山海遊館 大阪の人気スポットをダイレクトに結ぶ人気の観光ルートである



10:30発の渡船がちょっと遅れて到着　乗船するとすぐ出発でした



渡船に乗って　安治川の対岸　天保山桟橋･海遊館を眺める　2017.10.27.



天保山桟橋に停泊中の日本丸と海王丸　後ろは観光船サンタマリア号





渡船に乗って　安治川河口の出口　南側南港方面　2017.10.27.



安治川河口南側　天保桟橋から南港



安治川河口　北の上流側　対岸の桜島側





安治川河口北の上流側の上流側　大阪の市街地を眺める



桜島(此花区)側



港区側



天保山の渡船場　2017.10.27.



天保山渡船場のすぐ上が低山で有名な天保山　大きな碑が見える　　2017.10.27.



安治川東岸側　築港(島)の船着き場のすぐ上を阪神高速湾岸線が安治川を渡り、すぐ北側は天保山運河で区切られている






天保山渡船場



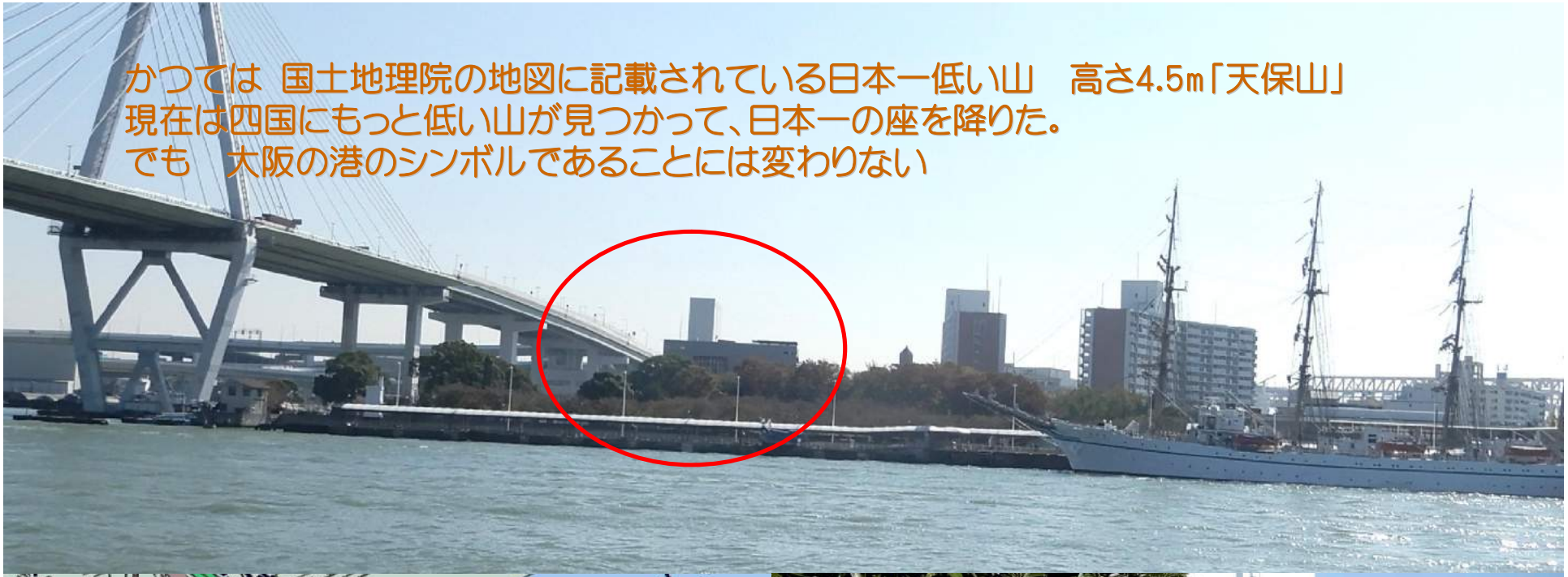


渡船場のすぐ横の丘が天保山のある天保山公園.　　2017.10.27.
大きな碑があるのですが、　三角点のある天保山はどこだろうか…?　見当たらない



親子連れが座って写真を撮っているところが三角点のある頂上でした

かつては 国土地理院の地図に記載されている日本一低い山　高さ4.5m「天保山」
現在は四国にもっと低い山が見つかって、日本一の座を降りた。
でも　大阪の港のシンボルであることには変わりない










Tenpozan Park
天保山公園


日本一低い山
大阪・天保山 山頂 / 4.53m


天保山の頂
32



天保山桟橋で大阪開港150年記念展示されていた日本丸

本年7月神戸港の開港150年記念展示で見たばかりですが、やっぱり足が向く

大阪港開港150年を迎えた天保山桟橋　帆船展示　2017.10.27.









大阪港開港150年を迎えた天保山桟橋　帆船展示　2017.10.27.


大阪開港150年記念展示されていた海王丸
大阪港開港150年を迎えた天保山桟橋　帆船展示　2017.10.27.



大阪港開港150年を迎えた天保山桟橋　帆船展示　2017.10.27.



天保山築港島岸壁南西端から　左:南港島遠望　　右:桜島のタンク群遠望
中央遠く海にある半円はなにか?不思議でしたが、南港の閉鎖された「なにわの海の時空館」



北側は巨大な水族館「海遊館」など島の中央　地下鉄大阪港駅前広場でした
何度も近くまできたり、高速道路から見る場所ですが、初めて歩きました

天保山から尻無川の甚平渡しへ　　11:06

天保山築港島の北西端　天保山渡し場 に戻ってきて　今度は尻無川の甚平渡しへ向かう
築港島中央から港区の中央を地下鉄と一緒に東北に貫く「みなと通り」を歩いて
朝潮橋から西へ折れて　街中を歩けば、甚平の渡しである。　子供の頃何度か連れていっもらった記憶はあるが、全く覚えていない。　また　みなと通りの地下鉄は国際見本市などで何度も通過した道であるが、街中はほとんど知らない。





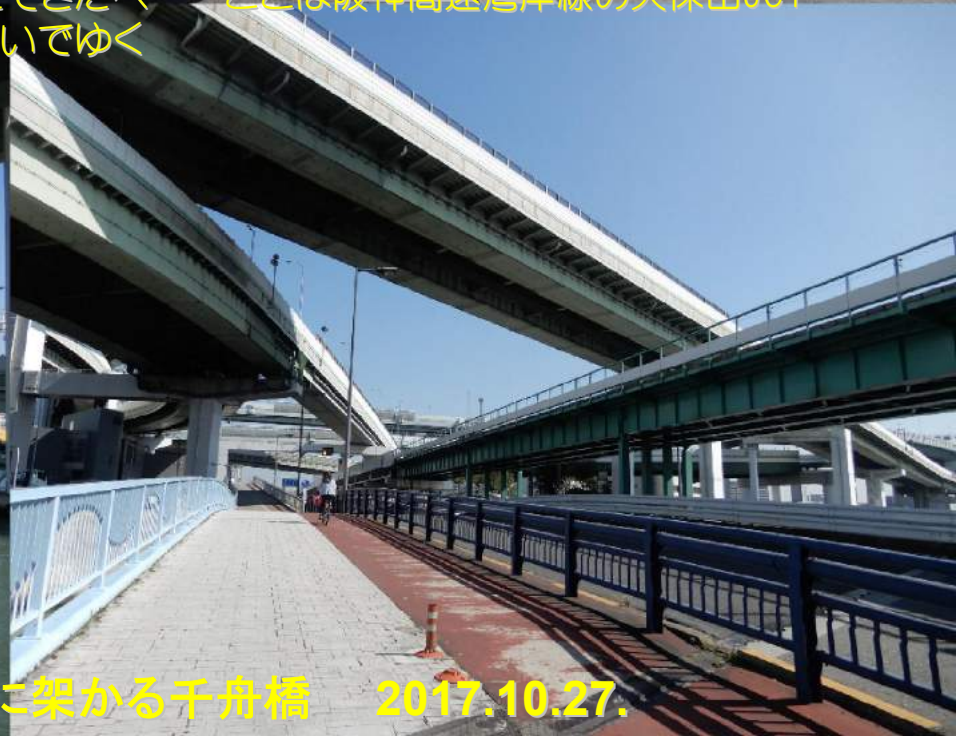
天保山築港の北端　天保山運河沿いを西へ防潮堤に沿って歩く　2017.10.27.
高い防潮堤がはりめぐられ、時折　防潮堤開いた扉から垣間見えるが、
運河沿いにある岸壁や町工場の建物などは見えない。



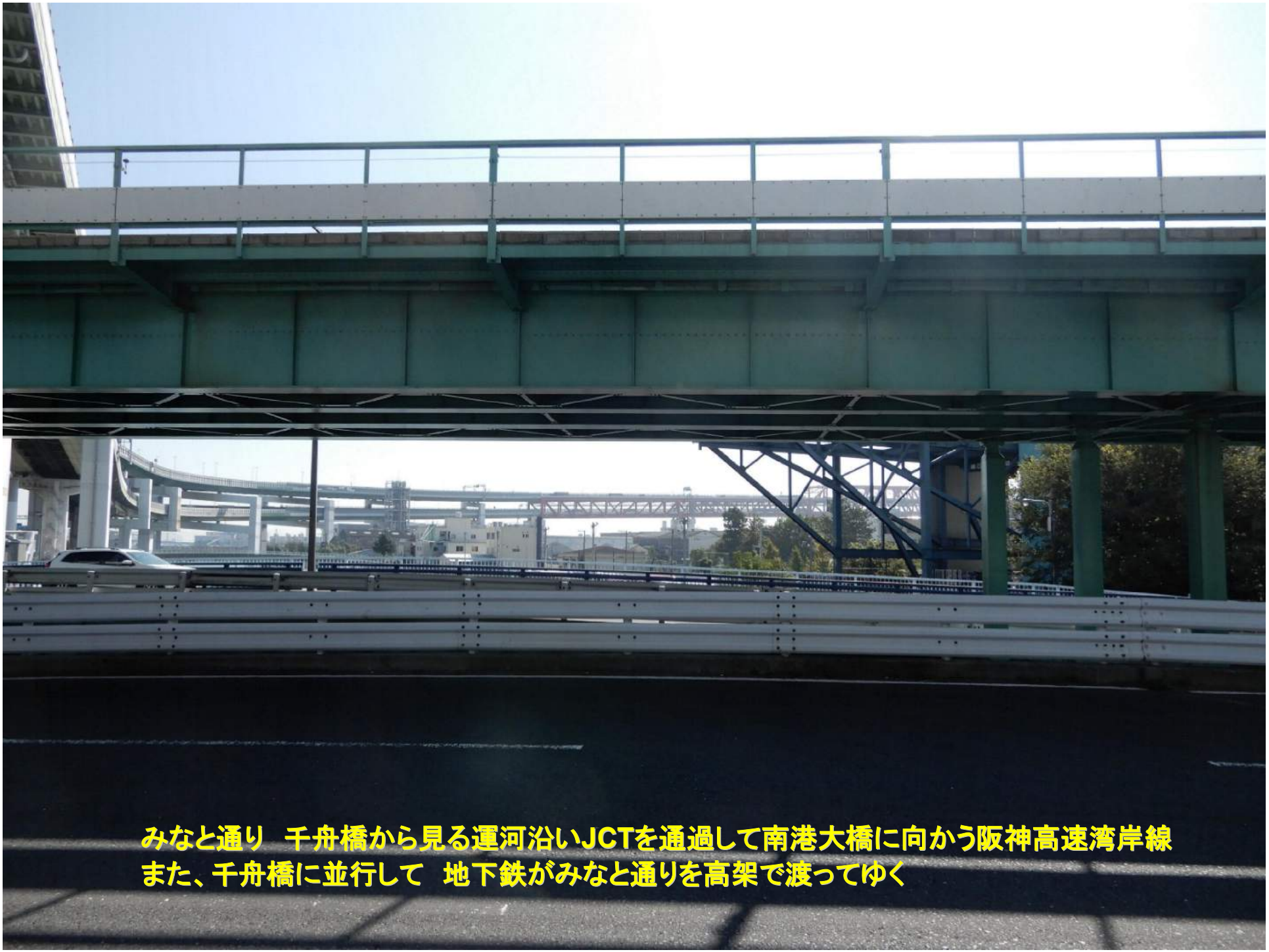


正面に赤いトラスの南港大橋が見えるみなと通り築港2交差点
左へ折れて　天保山運河に架かる橋をこえてきたへ　　ここは阪神高速湾岸線の天保山JCT
頭の上をいくつもループ高架の道路がまたいでゆく





みなと通り　天保山運河に架かる千舟橋　　2017.10.27.



みなと通り　千舟橋から見る運河沿いJCTを通過して南港大橋に向かう阪神高速湾岸線
また、千舟橋に並行して　地下鉄がみなと通りを高架で渡ってゆく





みなと通り　天保山運河に架かる千舟橋　　2017.10.27.







みなと通り　天保山運河に架かる千舟橋より南港大橋を眺める　　2017.10.27.


FamilyMart
酒 たばこ
ATM
P
港晴 2
Kousei-2
PACHINKO・SLOT



銀色の大阪ドームが見えてきて、地下鉄朝潮橋の駅前に　11.35.

ここから右へ折れて東へ　街中を尻無川の甚平渡船場へ


尻無川 港区側 甚平渡船場　2017.10.27.　11:55



尻無川 港区側 甚平の渡船場　2017.10.27.



大阪環状線からかいま見える尻無川のアーチ水門　こんな風だったのだ









尻無川 港区側 甚平渡船場　真向いが大正区側の甚平渡船場



尻無川 港区側 甚平渡船場
真向いが大正区側の甚平渡船場で、対岸の大正区側渡船場から船が着いた。 やはり自転車で渡船する人が多い



尻無川 港区側 甚平の渡船場　2017.10.27.



渡船に乗って対岸へ　　川の中央から南側を眺める　12:02

尻無川の南側には川に沿って工場岸壁が並び、、接岸した船の荷下ろしクレーンなどの機械が忙しく働いているのが見える。



尻無川 港区側 甚平の渡船場　2017.10.27.



渡船に乗って対岸へ　川の中央から北側を眺める　12:02

尻無川のアーチ水門の奥に大阪の市街地が見えている



尻無川の水門の奥 大正橋の手前あたりでしょうか？　川が右へカーブしているが、
その付近一帯の岸に貨物船でしょうか　いくつも並んで接岸しているのがみえる。
大阪の港が今も川筋を遡って、奥に広がっていることがわかる。
平面をつなぐ低い橋が架けられぬ事情がよくわかる場所だ。









大正区側の甚平の渡船場

まっすぐ南北の広い通りに出るとマンション群が立ち並ぶ住宅地　港区側とは対照的。



甚平の渡しから尻無川の河口にある千歳渡船場へ　12:07

この広い通りをまっすぐ南へ下がれば、南恩加島の南西端。北恩加島から南の鶴町へ渡る独特の形をした千鳥橋が見えている。
また、「泉尾」の地域標識にも目が行く。　トラックに書かれた「泉尾」の文字など名前だけはよく知る「泉尾」　である。　大正区のど真ん中　このあたりが「泉尾」なんだと。



北恩加島から安治川河口を南の鶴町へ渡る高架橋 千歳橋の入口

橋を渡らず左手の側道を行くと北恩加島の南西端　尻無川河口から南の鶴町へ渡る千歳渡船場
島の狭い場所で高い位置で河口を渡る橋をかけるため、道路はいったん右にカーブしてから左へ
再度カーブして橋を渡ってゆく。





このどん突きが北恩加島の南西端千歳渡船場
またこの千歳橋は歩道もついているので、橋も
わたってみなければ・・・・・





尻無川の河口を北恩加島から南の鶴町へ渡る千歳渡船場前　2017.10.27.





尻無川河口を中心に広がる大阪北港の広い海水面を千歳橋が鶴町の島へ渡ってゆく。
右手には天保山から南港へ渡る南港大橋　また、鶴町へ渡るなみはな大橋が見える





尻無川の河口を北恩加島から南の鶴町へ渡る千歳渡船場前　2017.10.27.　12:22



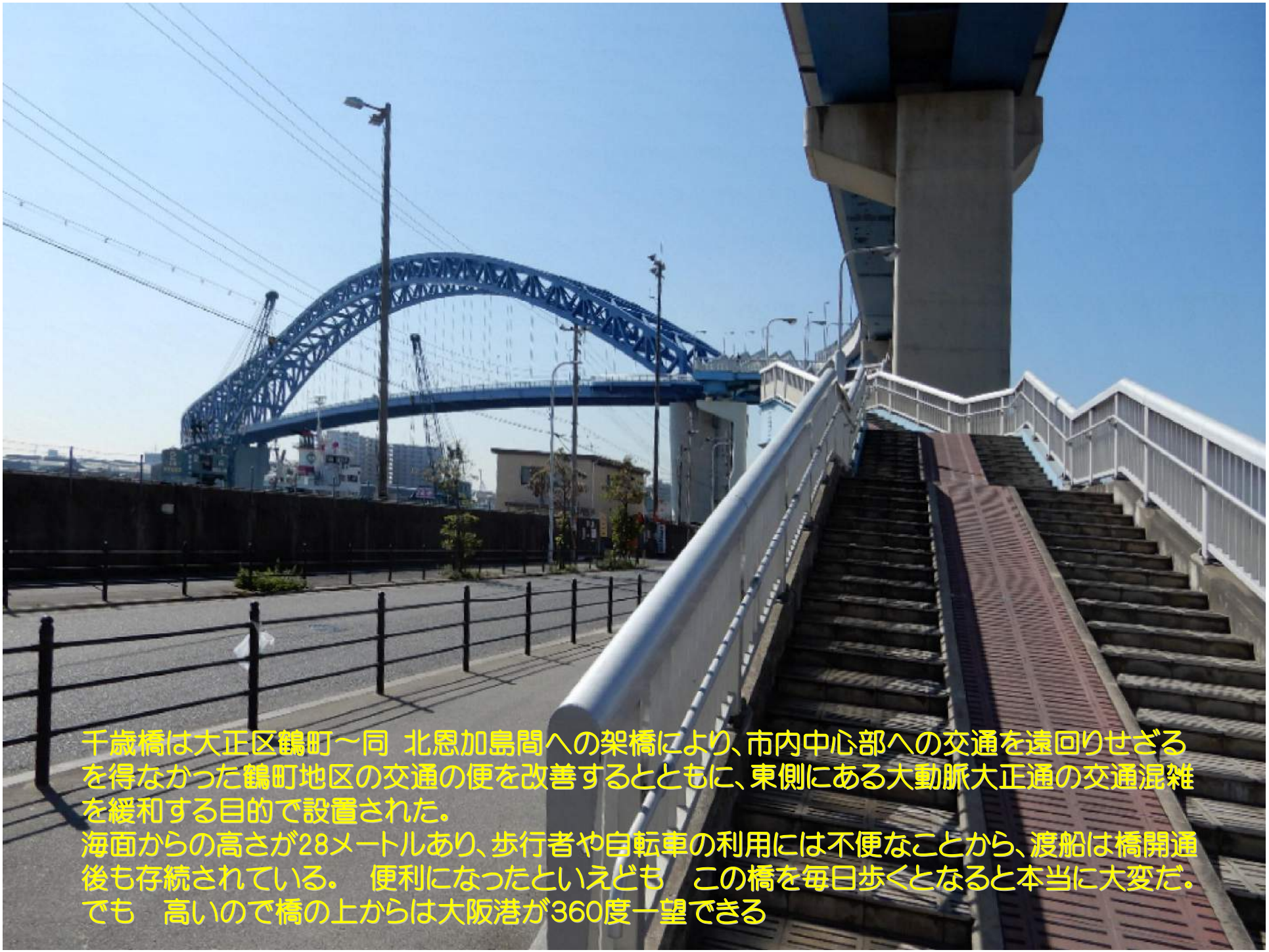
渡船が出たところなので　渡船場横の岸壁や千歳橋の上など周辺を歩くことに　2017.10.27.
渡船場に隣接する大正内港の岸壁　左: 北の上流側　右:南の河口側鶴町へ渡る千歳橋



尻無川上流側　川沿いの大正内港の岸壁



尻無川下流側　南　川沿いの大正内港の岸壁

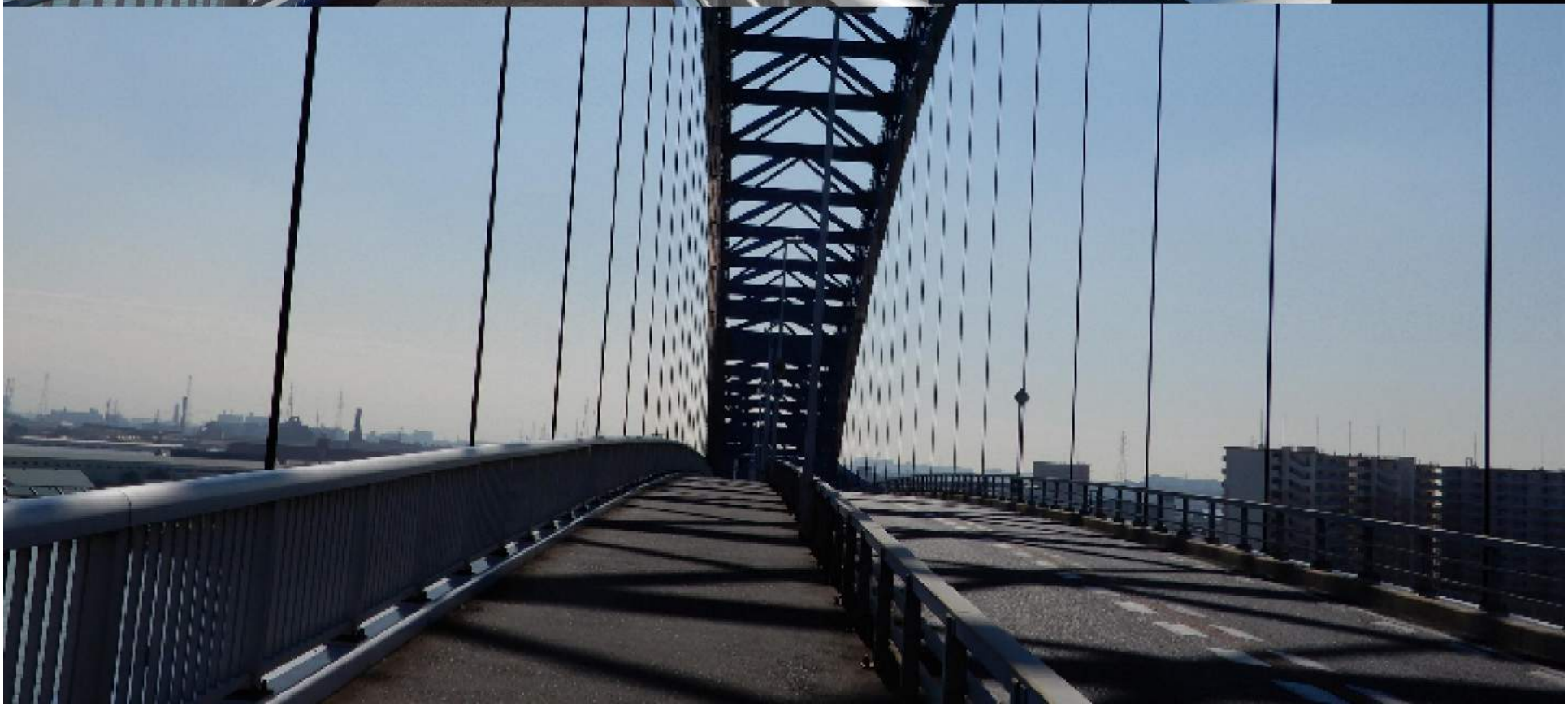


千歳橋は大正区鶴町～同 北恩加島間への架橋により、市内中心部への交通を遠回りせざるを得なかった鶴町地区の交通の便を改善するとともに、東側にある大動脈大正通の交通混雑を緩和する目的で設置された。
海面からの高さが28メートルあり、歩行者や自転車の利用には不便なことから、渡船は橋開通後も存続されている。　便利になったといえども　この橋を毎日歩くとなると本当に大変だ。
でも　高いので橋の上からは大阪港が360度一望できる






ちとせばし





南西の大阪南港　南港大橋を眺める



東南　大正内港から右端新木津川大橋



東北側　大正内港　背後に生駒山がかすむ手前　千歳公園　右端にアベノハルカスが遠望

2017.10.27.　大阪北港の渡し巡り　尻無川河口　大正内港に架かる千歳橋より周辺を眺める



南港大橋を眺めるのも本当に久しぶり　尻無川河口大正内港に架かる千歳橋より　2017.10.27.
赤い鉄骨の南港大橋の手前にコンクリートのなみはな大橋が見えている



西六甲の山からはかすんで見えなかった二上山・葛城山・金剛山が木津川河口の港の向こうに見えている。
何度もトライしたこの秋　やっと二上山が見られた　尻無川河口大正内港に架かる千歳橋より2017.10.27.



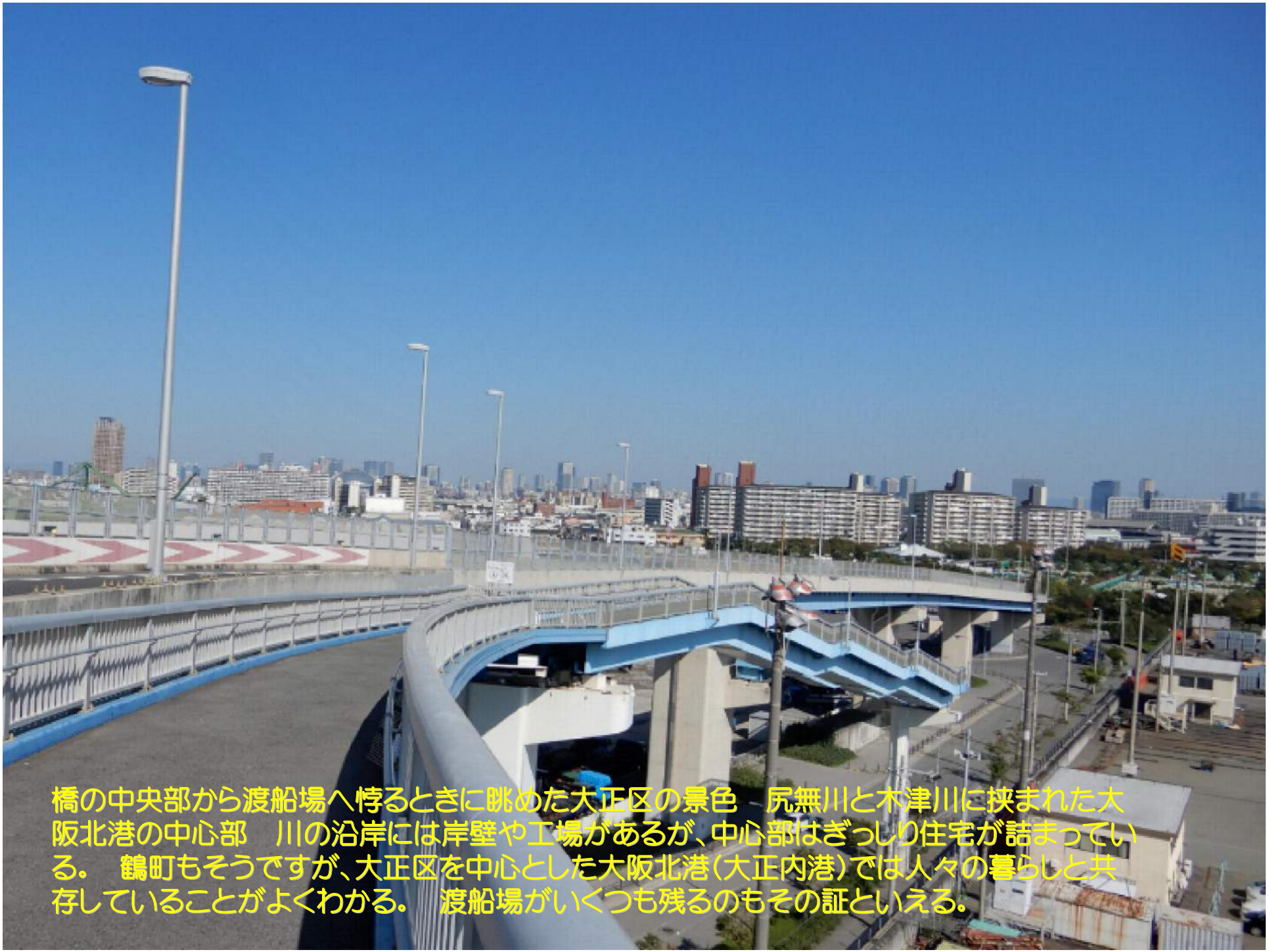
千歳橋の上から大正内港　そして　南恩加島･鶴町の工場地帯を眺める　2017.10.27.
右端に鶴町の南　船町から南港へ渡る新木津川大橋が見えている。
大阪北港の中心部大正区から南港へ渡る大阪港の大動脈である。



千歳橋の上から鶴町の工場地帯を眺める　2017.10.27.



千歳橋の上から南の鶴町を眺める
尻無川河口の岸壁の向こうに大きなマンションが群見える。
ここも街の暮らしと港とが共存している。



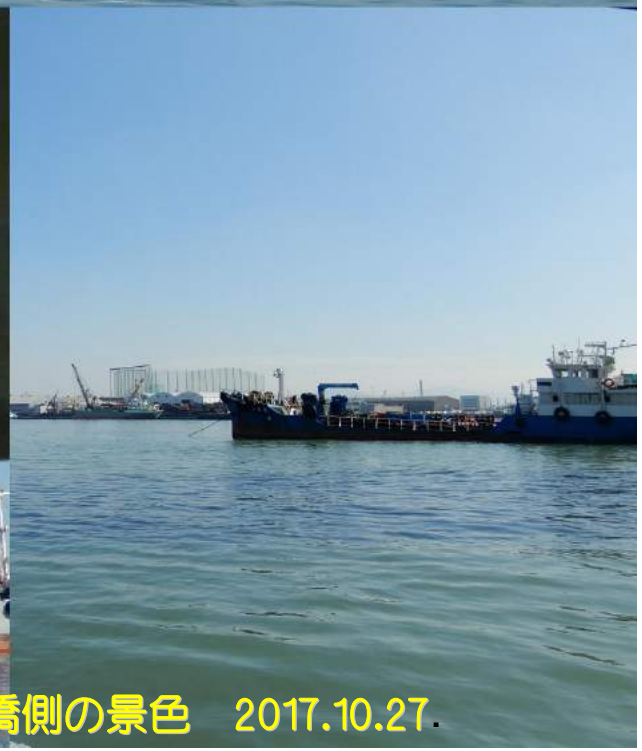
橋の中央部から渡船場へ悖るときに眺めた大正区の景色　尻無川と木津川に挟まれた大阪北港の中心部　川の沿岸には岸壁や工場があるが、中心部はぎっしり住宅が詰まっている。　鶴町もそうですが、大正区を中心とした大阪北港（大正内港）では人々の暮らしと共存していることがよくわかる。　渡船場がいくつも残るのもその証といえる。



南の鶴町側から渡船がやってきた。この尻無川を渡って　南の鶴町へ渡る。 12:46







北恩加島から鶴町へ千歳の渡しを渡る　北の恩加島・千歳橋側の景色　2017.10.27.









北恩加島から鶴町へ千歳の渡しを渡る　鶴町側の景色　2017.10.27



北恩加島から南へ尻無川河口を南へ渡った鶴町側千歳渡船場　2017.10.27.　13:03
すぐ上の高所を千歳橋が渡ってゆく。　やっぱり　この高い橋を渡るのは大変だ



鶴町側千歳渡船場横から　今渡ってきた眺めた大阪北港(内港)　2017.10.27.





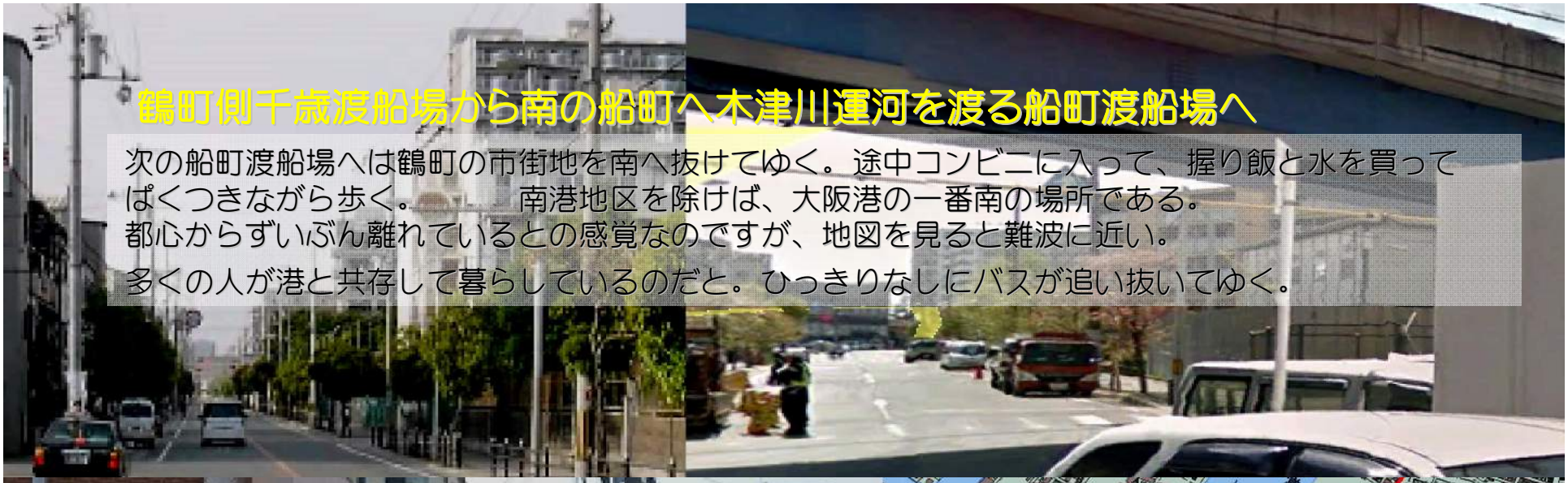


鶴町側　千歳渡船場　2017.10.27.　13:03



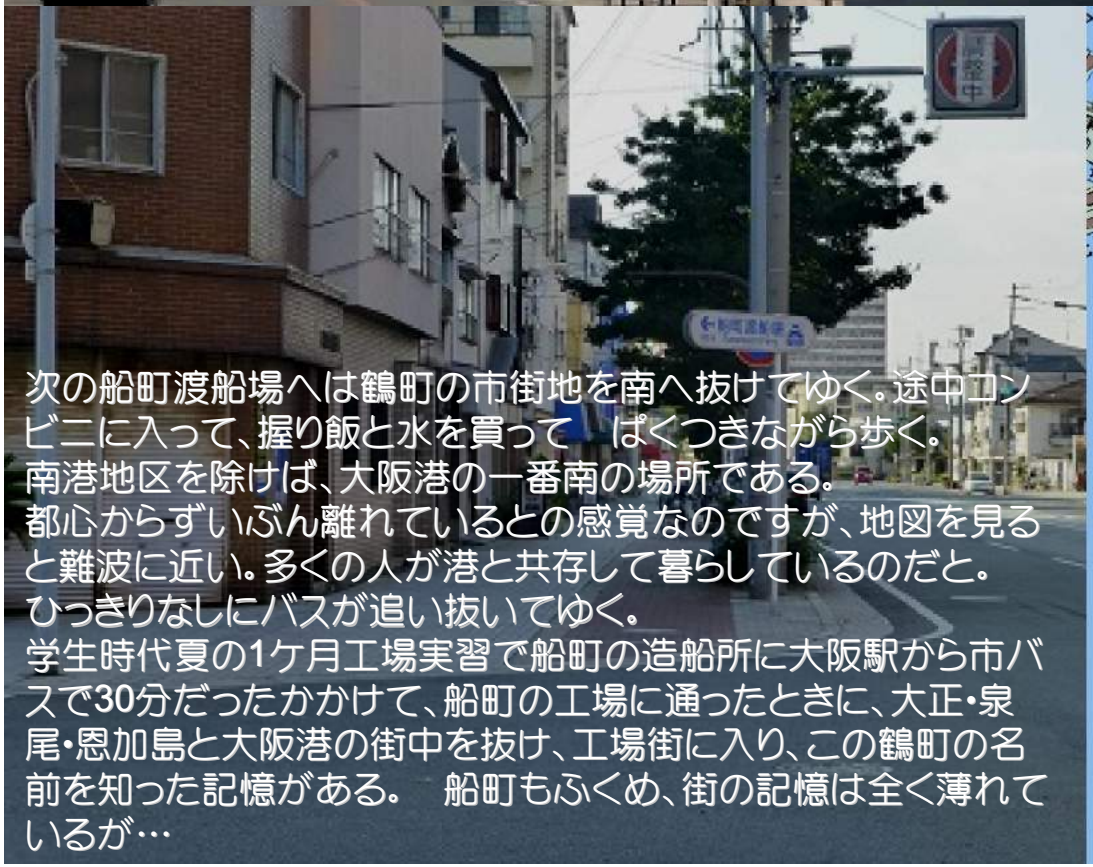


鶴町側千歳渡船場から防潮堤を降りて　鶴町の街中へ　2017.10.27.



鶴町側千歳渡船場から南の船町へ木津川運河を渡る船町渡船場へ

次の船町渡船場へは鶴町の市街地を南へ抜けてゆく。途中コンビニに入って、握り飯と水を買ってぱくつきながら歩く。　　南港地区を除けば、大阪港の一番南の場所である。
都心からずいぶん離れているとの感覚なのですが、地図を見ると難波に近い。
多くの人が港と共存して暮らしているのだと。ひっきりなしにバスが追い抜いてゆく。



次の船町渡船場へは鶴町の市街地を南へ抜けてゆく。途中コンビニに入って、握り飯と水を買って　ぱくつきながら歩く。
南港地区を除けば、大阪港の一番南の場所である。
都心からずいぶん離れているとの感覚なのですが、地図を見ると難波に近い。多くの人が港と共存して暮らしているのだと。
ひっきりなしにバスが追い抜いてゆく。
学生時代夏の1ケ月工場実習で船町の造船所に大阪駅から市バスで30分だったかかけて、船町の工場に通ったときに、大正・泉尾・恩加島と大阪港の街中を抜け、工場街に入り、この鶴町の名前を知った記憶がある。　船町もふくめ、街の記憶は全く薄れているが…





鶴町1丁目のバス停のところにある船町渡船場の案内標識で南に折れてまっすぐ行くと船町渡船場　防潮堤に突き当たる。
私の記憶では鶴町は工場街とあるのですが、四方を川と運河に挟まれ、防潮堤と港湾施設・工場が取り囲み、出口は北のみの大阪港南端に大阪の下町が今も広がっているのにびくり。







千歳橋渡船場から２０分ほどで、木津川運河を南に渡る鶴町側船町渡船場

2017.10.27.　13:31

目の前に木津川運河が流れ、対岸の船町は中山製鋼の鉄の街



木津川運河を南に渡る鶴町側　船町渡船場　　2017.10.27.

記憶にはほとんど残っていない周辺の様子　大阪駅からバスで通い、工場の門のすぐ横に船町の船着き場があったはず。渡船を待っているおじさんに船町の船着き場のすぐ横に「日立造船の築港工場があったのでが・・・・」と話しかけると「運河の右手側のビルなどの一角が日立造船。それ以外は中山製鋼の鉄の街。　中の様子はずいぶん違うよ」と教えてもらう。
また 日立造船の工場が「築港」の名前とともに残っていることにびっくり。







木津川運河を南に渡る鶴町側　船町渡船場　2017.10.27.

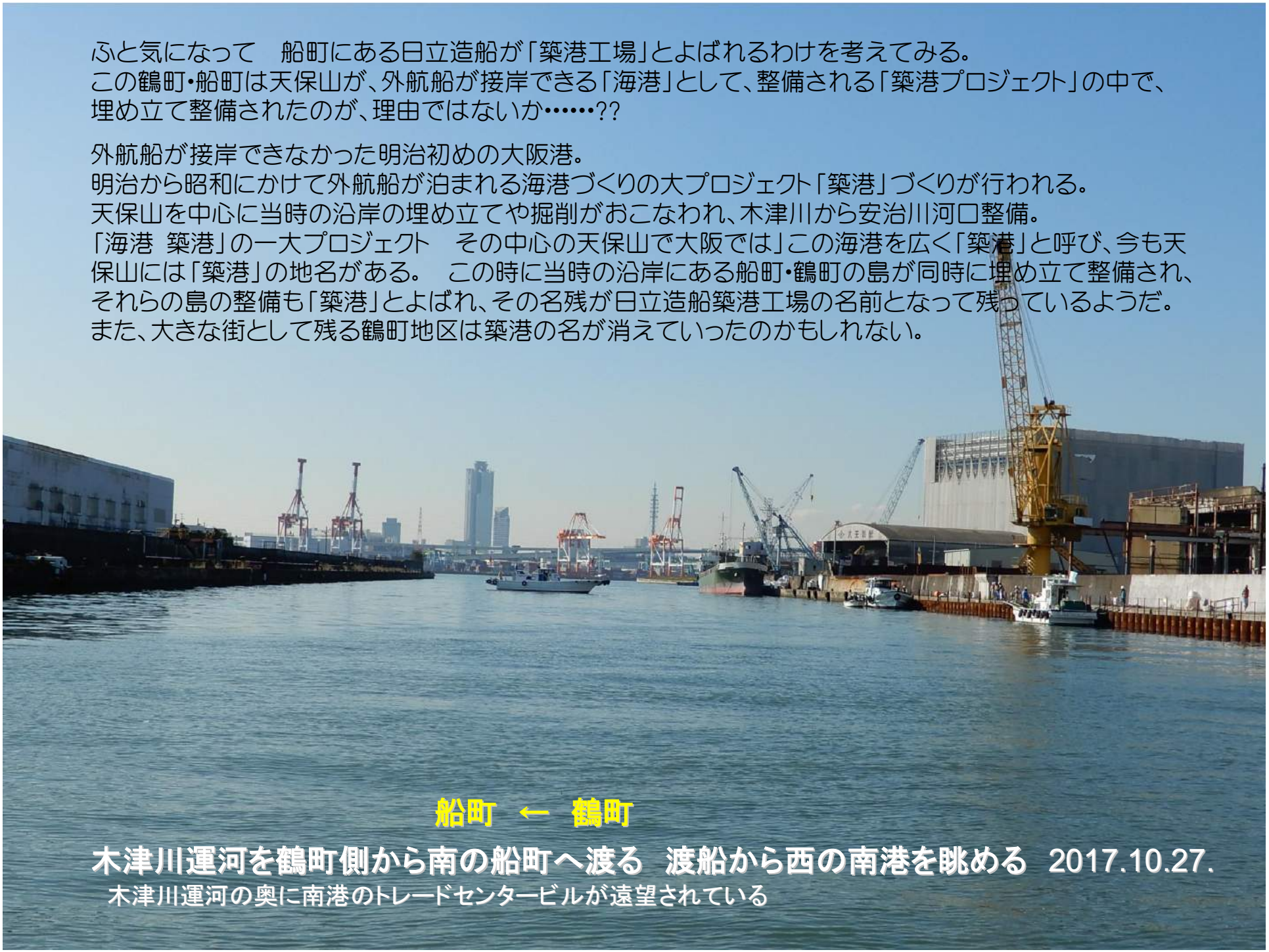


木津川運河を鶴町側から南の船町へ渡る 渡船から東の市街地側 2017.10.27.

奥に船町から北の鶴町へ 工場地帯と市街地をつなぐ唯一の橋 大船橋が見える

ふと気になって　船町にある日立造船が「築港工場」とよばれるわけを考えてみる。
この鶴町･船町は天保山が、外航船が接岸できる「海港」として、整備される「築港プロジェクト」の中で、
埋め立て整備されたのが、理由ではないか……??

外航船が接岸できなかった明治初めの大阪港。
明治から昭和にかけて外航船が泊まれる海港づくりの大プロジェクト「築港」づくりが行われる。
天保山を中心に当時の沿岸の埋め立てや掘削がおこなわれ、木津川から安治川河口整備。
「海港　築港」の一大プロジェクト　その中心の天保山で大阪では」この海港を広く「築港」と呼び、今も天保山には「築港」の地名がある。　この時に当時の沿岸にある船町･鶴町の島が同時に埋め立て整備され、
それらの島の整備も「築港」とよばれ、その名残が日立造船築港工場の名前となって残っているようだ。
また、大きな街として残る鶴町地区は築港の名が消えていったのかもしれない。



船町　←　鶴町

木津川運河を鶴町側から南の船町へ渡る　渡船から西の南港を眺める　2017.10.27.

木津川運河の奥に南港のトレードセンタービルが遠望されている









木津川運河を南に渡って　船町側　船町渡船場　　2017.10.27.



船町側　船町渡船場前の通り　2017. 10. 27.　工場地帯の昼下がり　人の姿は全くなし
一度確かめたかった日立造船築港工場前　おぼろげにおぼえている。でも　中は全く記憶なし。
保安へ行って、工場概要をお願いしたのですが、なしと。日立造船の変貌とともに築港工場も大きく
変わり、いまここに　かつて桜島にあった研究所があると。
ここにあった鋳物の工場で実習しましたが、もう遠い過去に・・・・。



西船町のバス停前　2017. 10. 27.　13:48
道がL字に北へ折れる角に市バスが見える
大阪駅行の標識にかつて通ったバスと昔のことがよみがえる

船町から大正区の大通りを北へ
大正区の東側を流れる木津川にある落合下・上の渡船場を巡りJR大正駅へ　13:52









東を木津川　西を釜無川に挟まれた細長い大阪北港の中心地大正区 。
その南端　西船町から北の大正橋まで　大阪北港の中央を貫く大正通をまっすぐ北に
バスで向かう。　学生時代　大阪駅から西船町まで　工場実習で通った路線である。
北恩加島の平尾町のバス停で下車。
そこから東の木津川と大阪の市街地西成区とを結ぶ落合下・上二つの渡船場を巡り、
大正橋へ戻って、今回の大阪港渡船場巡りの終わりにする。
船町は人家がない中山製鋼の鉄の街　バスは鉄の工場群の中を北へ抜けてゆく



木津川運河にかかる大船橋



木津川運河の先に船町渡船場のあたりが見える



大運橋の交差点を過ぎ、南恩加島にはいり、平尾のバス停で降りて、
木津川へ向かって前方の横断歩道を渡り、平尾の街中へはいる。13:55

Google photo





南北の大通　大正通の平尾バス停で降りて、まっすぐ東へ木津川へ向かって歩く　13:56
落合下渡船場はもう少し北側なので、ジグザグに街中を通り抜け、市営小林住宅のアパート群の間を抜け、小林公園の横を過ぎるとドン付きのT字路に　←落合下渡船場の案内板。





「字路を北に回り込んだところに木津川の防潮堤「落合下渡船場」の案内板があり、東へ入る。





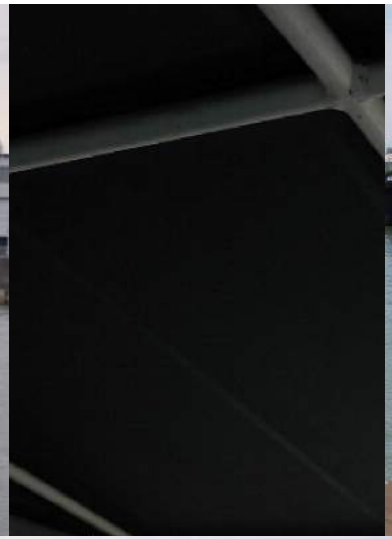
大正区から東の西成区へ木津川を渡る大正区側 落合下渡船場前　2017.10.27.　14:11



大正区から東の西成区へ木津川を渡る大正区側 落合下渡船場　2017.10.27.　14:17



西成区側 落合下渡船場





大正区側 落合下渡船場







大正区から東の西成区へ木津川を渡る大正区側 落合下渡船場　2017.10.27.　14:17

もう少し大正区側を歩きたかったので、向かいの渡船場で降りずにそのまま引き返しました



大正区から東の西成区へ木津川を渡る 落合下渡船から北の上流側　2017.10.27.

落合上渡船場のある三軒家川(左)と木津川(右)の合流点のすぐ上にある三軒家水門とアーチ型の木津川水門が見え、港に入った船は木津川水門のさらに奥まで遡る

また、左手奥に西から北へ回り込んでくる尻無川の北にある円形の大阪ドームが見え、尻無川と木津川が合流する大正橋のあたりの地理関係がよくわかる。



西成側対岸の岸壁には石炭だろうか?いくつも台船が並び、作業中。
その向こうは太平洋マテリアル関連の工場群　そして　その後ろには千本松大橋　　2017.10.27..



千本松大橋の後ろに名村造船の工場の大きなクレーンがいくつも見えている



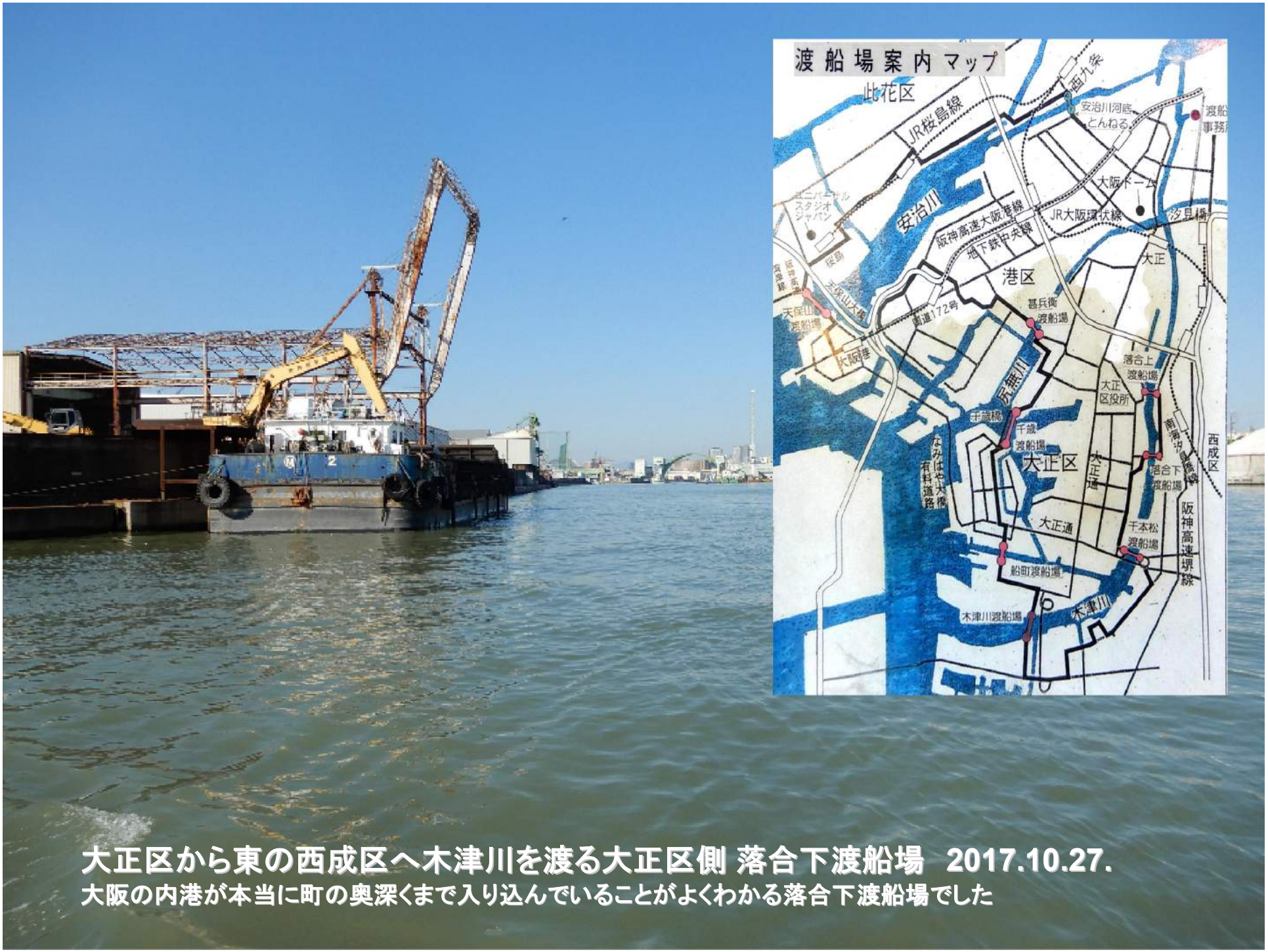
大正区から東の西成区へ木津川を渡る 落合下渡船　復路　2017.10.27.

もう一度　三軒家水門と木津川水門をしっかり、眺める。
どちらの水門の奥にも数多くの艀がはいっており、この二つの水門が水路奥深くに入り込んだ港の機能を高潮から守る重要な役割を担っていることがよくわかる



西成側対岸の岸壁には石炭だろうか?いくつも台船が並び、作業中。
その向こうは太平洋マテリアル関連の工場群　そして　その後ろには千本松大橋　　2017.10.27.





大正区から東の西成区へ木津川を渡る大正区側 落合下渡船場　2017.10.27.

大阪の内港が本当に町の奥深くまで入り込んでいることがよくわかる落合下渡船場でした



小林公園のバス停前まで戻り、バス道を北へ落合北の渡船場へ向かう　14:23
落合下の渡船場からも見えていた木津川水門の手前のところ
地図によれば　すぐ北の千歳公園のところから東へはいれば落合上渡船場である
すぐ近くである。

千歳大橋から眺めた尻無川河口の内港の東奥に見える丘の森　千島公園

万博が開かれた高度成長の時代に地場沈下で機能しなくなって南の住之江へ移った貯木場を地下鉄建設などで出た廃土を埋め立て大正区の中心公園として作られたという。丘の山は「昭和山」といい、大正区のシンボル。鶴見緑地の鶴見新山ができるまでは大阪市で一番高いところだったという。
目指す木津川の落合上渡船場は公園の後ろである。
この写真手前の内港は北恩加島町そして　千島公園は千島町。　どちらももっと前は島だったのだろう



午前中に南の端　千歳大橋から眺めた
千歳公園ほか大正区の北の中心部







大正区の大きな公園　千島公園　東側入口前　2017.10.27.

西の大正通りからこの通りまで、小さな丘が丸ごと公園になっている大きな千島公園。
公園の東側角の入口のすぐ北の三叉路に落合上渡船場の標識があり、　これを東に入ると木津川の防潮堤　落合上渡船場前へでる。



大正区から東の西成区へ木津川を渡る大正区側 落合上渡船場前　2017.10.27.　14:31



木津川を渡る大正区と西成区を結ぶ落合上渡船場　2017.10.27.



大正区から東の西成区へ木津川を渡る大正区側 落合上渡船場　2017.10.27.

防潮堤の上から　木津川の下流南側　川沿いはすべて工場岸壁のようだ　木津川沿岸の内港である



大正区側 落合上渡船場のすぐ上流側に、左:三軒家川水門　右:木津川水門　2017.10.27.



大正区側 落合上渡船場から北へ　水門のあたりを見に行く

落合上の渡しも西成区側で下船せず、往復して大正区側から北へ　今回の大阪港渡船場巡りはこれで終わり。大通りにでず、木津川沿いに水門のあたりまで歩いて、それからJR大正駅に向かう。 大阪港にある8の渡船場のうち6つをめぐることができました。









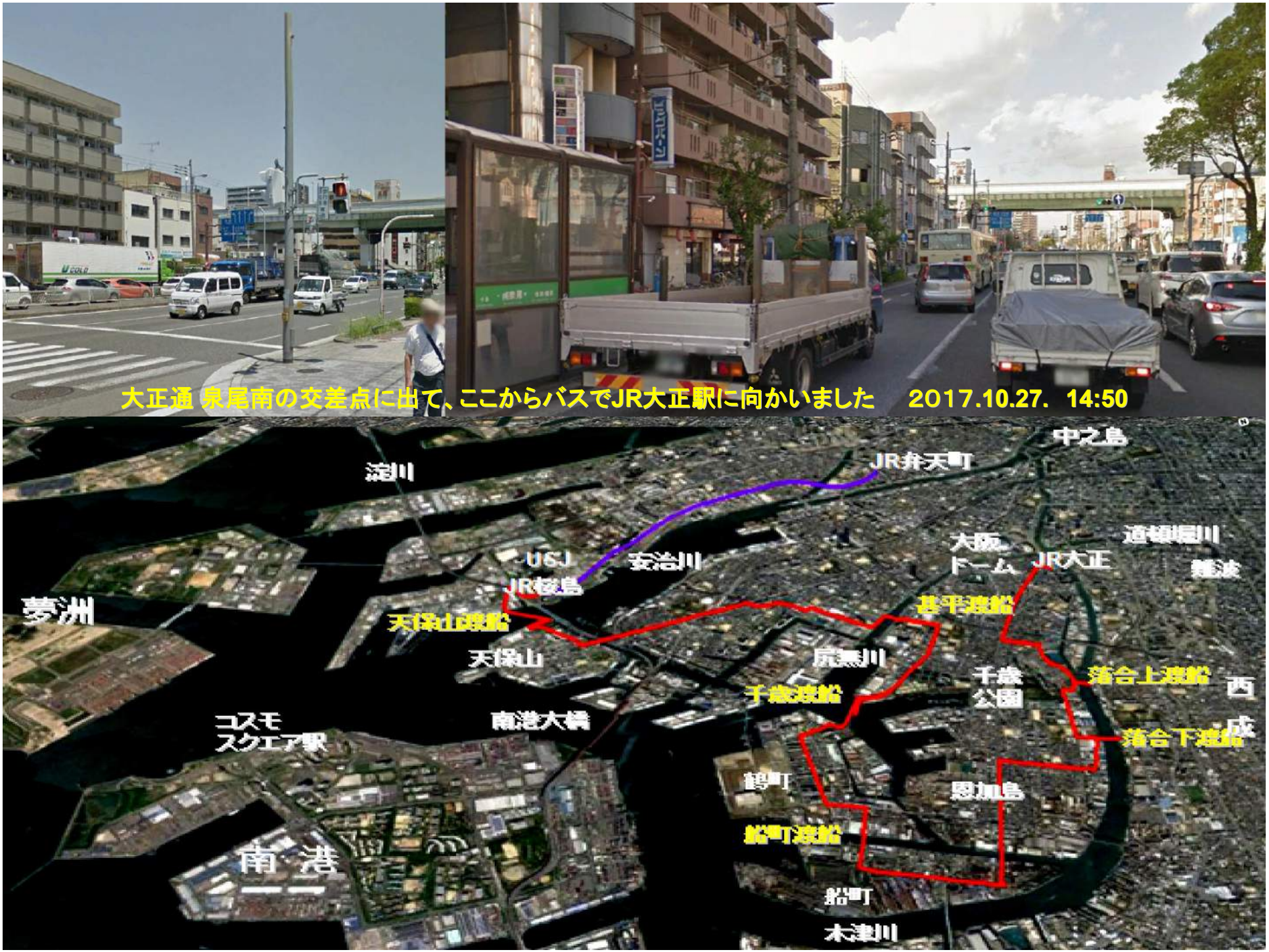








三軒家水門の北で、西に折れて、街中を大正通 泉尾南の交差点に出て、
ここからバスでJR大正駅に向かいました


大正通 泉尾南の交差点に出て、ここからバスでJR大正駅に向かいました　2017.10.27.　14:50
中之島
JR弁天町
淀川
大阪ドーム
JR大正
USJ
JR桜島
安治川
難波
夢洲
天保山渡船
天保山
尻無川
千歳公園
落合上渡船
落合下渡船
千歳渡船
南港大橋
コスモスクエア駅
鶴町
船町渡船
南港
船町
木津川



大阪港の渡し　渡船場巡りの終着点　JR大正駅　　2017.10.27.15:05

一日大阪港の渡しを巡るwalk
大阪湾にそそぐ3つの川　西から東へ　安治川・尻無川・木津川の川筋に今も活動がつつく大阪北港。
川筋と運河にはさまれた狭い島の中　周囲は川に面した岸壁に直結した工場街
そして高架で島を渡ってゆく高速道そして大通り網が島の港の機能の中核を担う。
しかし、その中央には多くの人たちが暮らす大阪の下町が今も健在である。
ひっそりとした渡し船かと思いましたが、住人達たちの話し声が飛び交い、自転車ごと隣の島へ渡ってゆく。都心から遠く離れた南の離れ小島などの妄想はいっぺんに木っ端みじんに。

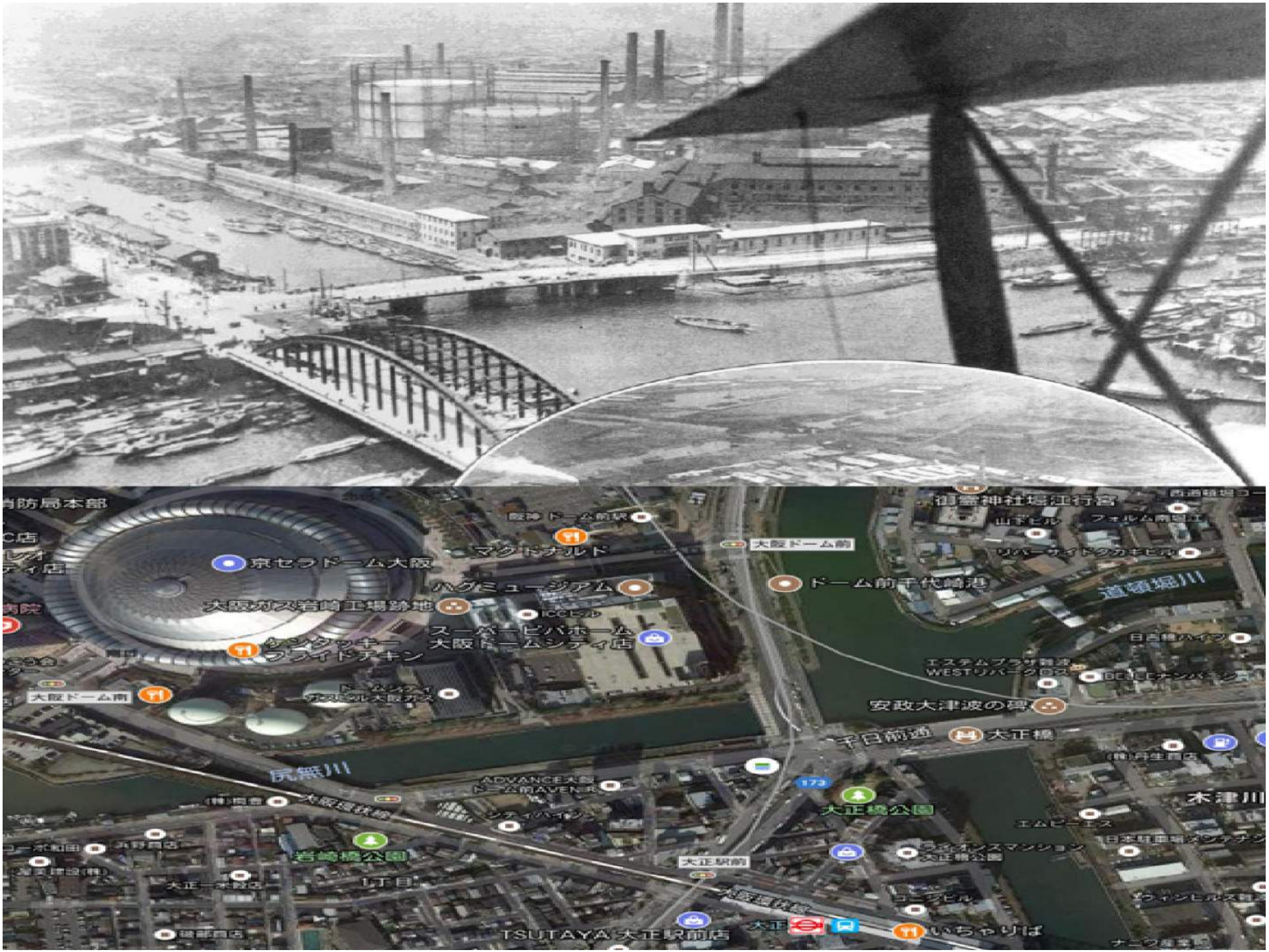
そんな日常の島の暮らしを支え、街と街をつないできたのが、大阪港さん河川の渡しのネットワーク。
一日中渡船も15分～30分間隔で運行され、都市内の市バスの運行間隔と変わらない。
今も多くの人たちが行き来する。
大阪港の渡し　全く飽きない楽しい渡し場巡りでした。

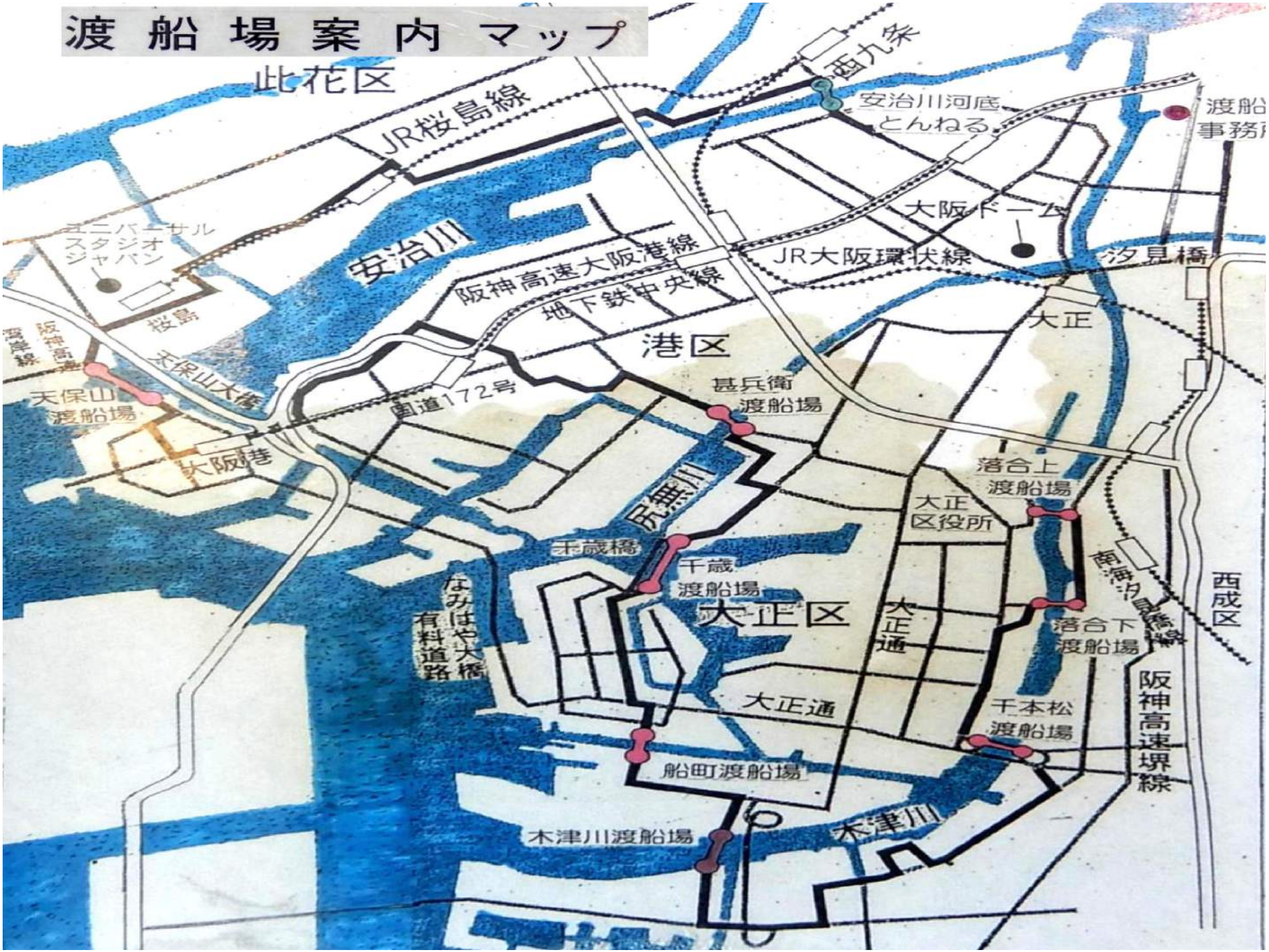
南港に港機能の主要部が移って、ドンドン疲弊しているのではと思っていましたが、元気な大阪内港の活動にもびっくりでした。　また、鉄の街を見る機会がどんどん減って、寂しくなっていましたが、ひさしぶりに　活発に動く川筋にある鉄の街・工場を見ることもできました。　ただ、造船所が次々、消えてゆくのはさびしい。

Walkの中で　うっすら記憶にある地名が飛び出し、街中を歩けたのも収穫。
街で見かけるトラックの住所はこんな町だったんだなどなど。
親父がよく言っていた木津川沿岸　大正橋　三軒家　築港　天保山　安治川などの地名。
そして学生時代の記憶　鶴町・船町もしっかり見てきました。　安治川口から桜島　USJができてからの変貌そして天保山の変貌にもびっくり。
こっちはもう　浦島太郎でした。　また、天保山にも登って三角点踏みそして日本丸・海王丸もみれました。

駆け足の大阪港の渡しwalkでしたが、一応予定通り、全部回れましたが、安治川の源平渡し代替地下歩道トンネルと消えた安治川の渡し群　築港ほか地名から見えてくる島々の埋め立てと港整備の歴史等々まだまた面白いことがあると見える 大阪の渡しwalk。　次回はまた別のまわり方をトライしたいと。
また、今回は歩けなかった大正橋から西九条への港地域の北側界隈　また次の機会にトライしたいと。
知っているようで知らない街歩き。今回もまた　そんなうれしい街歩き。
私にとっては昔の記憶を呼び覚ます街歩きでもあり、うれしい私的な写真帳ができそう。　楽しい一日でした。

環状線の窓から　大阪内港の船やアーチ型水門を眺めながら
2017.10.27.午後　　Mutsu Nakanishi


京セラドーム大阪
マクドナルド
ハグミュージアム
大阪ガス岩崎工場跡地
スーパーデパホーム
大阪ドームシティ店
ケンタッキー
フライドチキン
大阪ドーム前
ドーム前千代崎駅
安政大津波の碑
千日前通
大正橋
尻無川
大正橋公園
岩崎橋公園
大正駅前
TSUTAYA 大正駅前店
いちゃりば
道頓堀川


渡船場案内マップ
此花区
JR桜島線
西九条
安治川河底
とんねる
渡船
事務所
大阪ドーム
JR大阪環状線
汐見橋
ユニバーサル
スタジオ
ジャパン
桜島
安治川
阪神高速大阪港線
地下鉄中央線
大正
港区
阪神高速
湾岸線
天保山大橋
天保山
渡船場
国道172号
甚兵衛
渡船場
大阪港
尻無川
落合上
渡船場
大正
区役所
千歳橋
千歳
渡船場
大正区
大正通
南海汐見橋線
落合下
渡船場
西成区
なみはや大橋
有料道路
大正通
千本松
渡船場
阪神高速堺線
船町渡船場
木津川
木津川渡船場

アーチ型水門　河を閉じる水門はどこに 格納されているのだろうか？不思議で・・・・・・・・・
調べてみて　やっとその疑問が解けました

アーチ型水門は実際に高潮から守るとき　どんな風に閉まるのでしょうか？

巻き上げ機からワイヤーロープを繰り出し扉体を上流側に90度倒す

調べると皆同じで、安治川水門の場合の写真がありました



主水門閉鎖作業中

→



主水門完全閉鎖



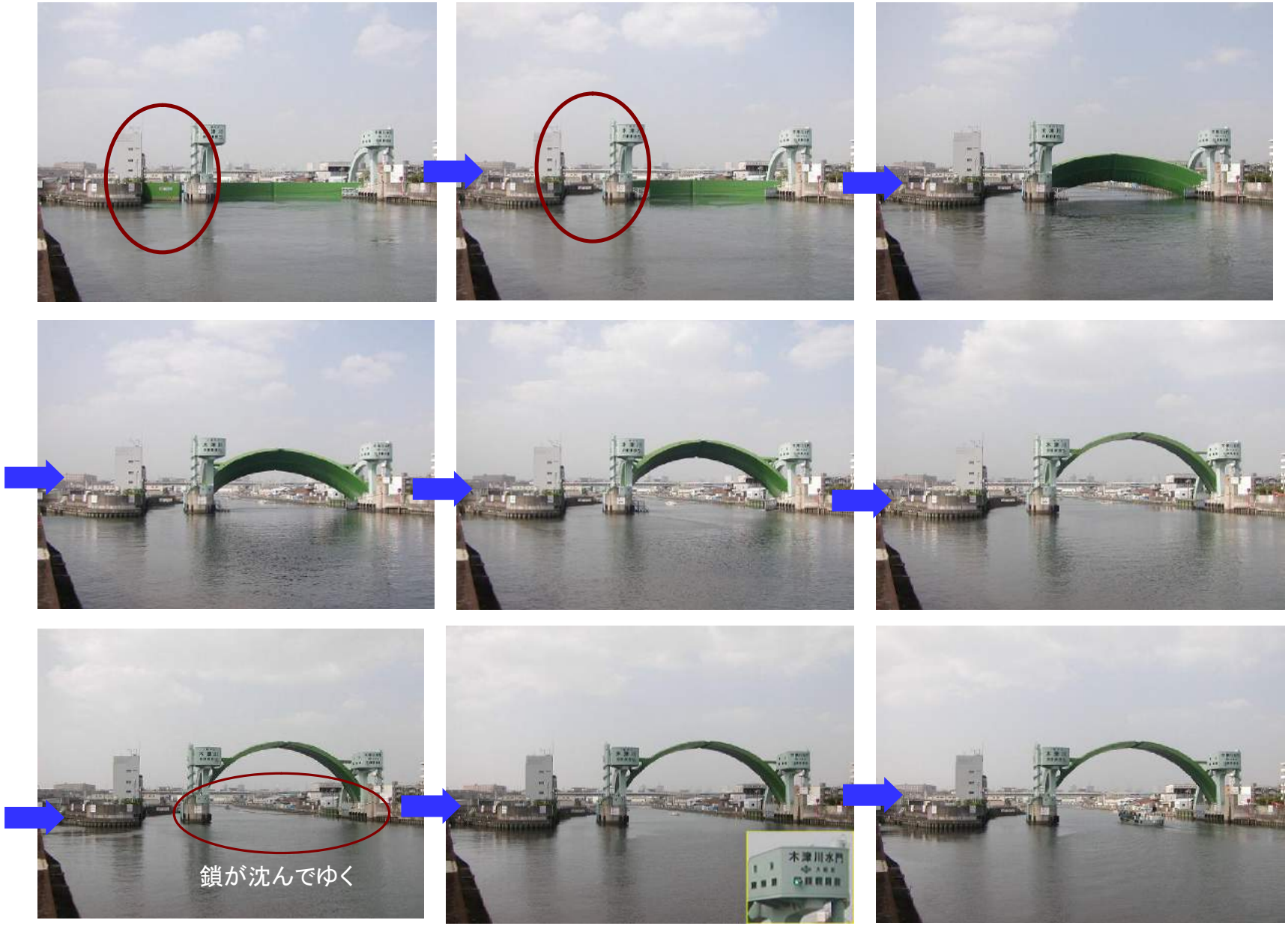
副水門閉鎖作業中

→



副水門完全閉鎖

《　木津川水門の閉鎖から開門までの例　》



http://non-chan.sakura.ne.jp/Okkiimono/Okkiimon/VisorGate/VisorGate02.htm　より

大河　淀川にはアーチ型水門がないのに　なぜ　大阪港の3河川にアーチ水門がいるのか？

大阪の港の3つの安治川・尻無川・木津川になぜ　アーチ型水門があるのか、これらの川にはすべて高い防潮堤が張り巡らされているのに、なぜ　高潮対策の水門がいるのか??? と。
よくわかりませんでしたが、水門構造・水門閉鎖の作業・水門構造を知って、それが理解できました。



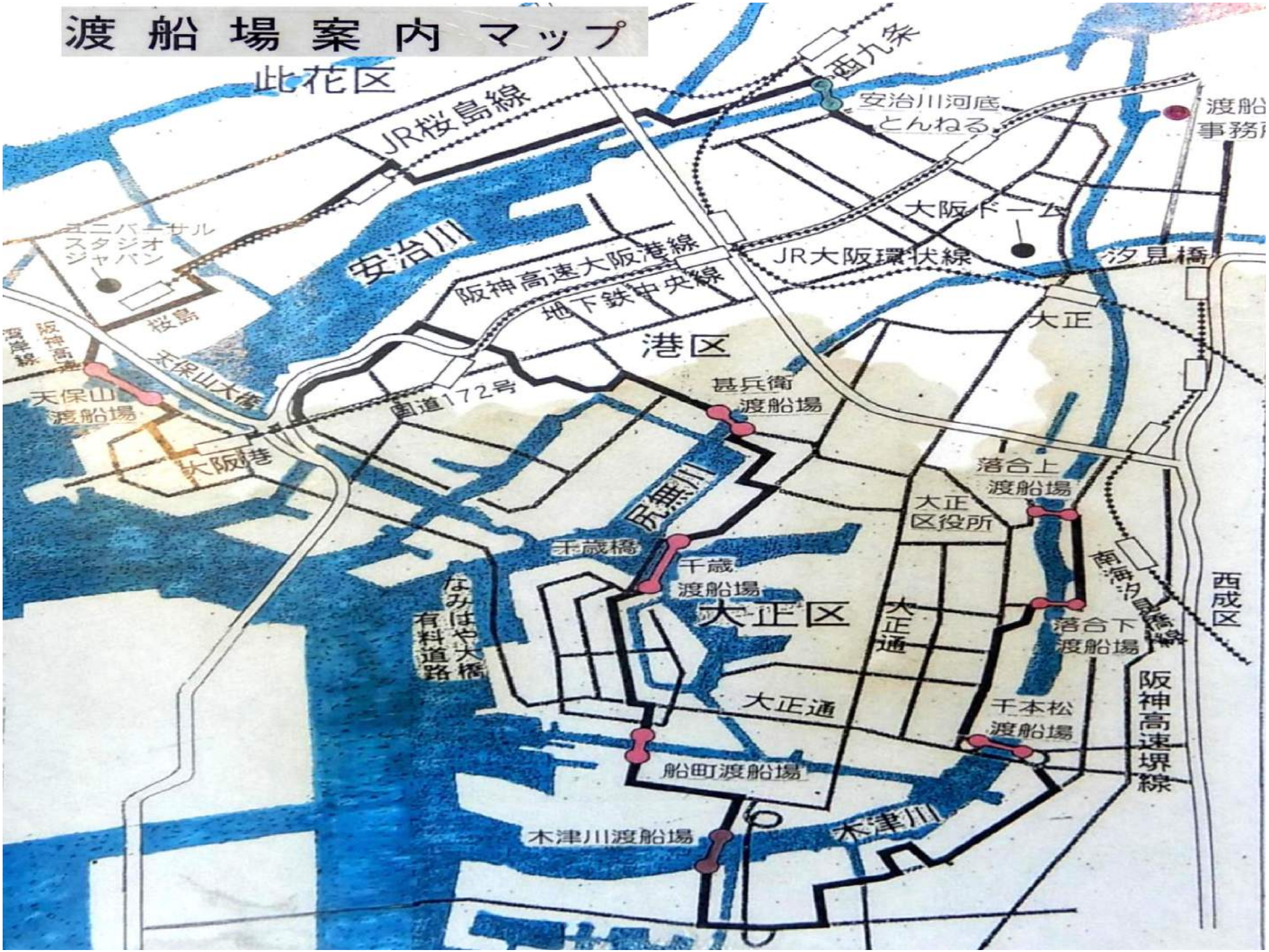
これらの川の奥に内港があり、数多くの船が停泊している大阪。　高潮が発生して、川を遡る潮から川筋の岸壁にいる船を守るのが主用途なんだと。

要は海岸の沖にある波けしブロックの役割と同じで、川を遡る高潮のスピードを殺すのが役割のようだ。
したがって、閉じられる水門は底にはついておらず、海水表面から上へ出ている部分が重要なんだと。
川の水位上昇を抑えるのが主目的ではなく、川を遡る潮のスピードを落とし、急速な川の水位上昇を緩和する目的だと。



したがって　狭い川筋に港がある大阪には重要なんだと。　したがって　川幅の大きな淀川には防潮堤は完備されているが、アーチ型水門はないのだと。

間違っているかなぁ???

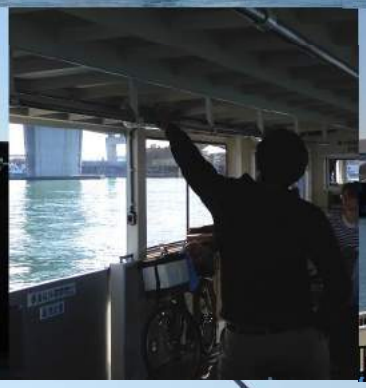

渡船場案内マップ
此花区
JR桜島線
西九条
安治川河底
とんねる
渡船
事務所
大阪ドーム
JR大阪環状線
汐見橋
ユニバーサル
スタジオ
ジャパン
桜島
安治川
阪神高速大阪港線
地下鉄中央線
大正
港区
阪神高速
湾岸線
天保山大橋
天保山
渡船場
国道172号
甚兵衛
渡船場
大阪港
尻無川
落合上
渡船場
大正
区役所
千歳橋
千歳
渡船場
大正区
大正通
南海汐見橋線
落合下
渡船場
西成区
なみはや大橋
有料道路
大正通
千本松
渡船場
阪神高速堺線
船町渡船場
木津川
木津川渡船場


甚平渡船場


落合上渡船場






千歳渡船場


船町渡船場


落合上渡船場


天保山渡船場


甚平渡船場

2017.10.27.


大阪港渡船場　2017.10.27.
現在も「道」として地域の足
JR西九条
JR大正
難波
JR桜島
甚平渡
天保山渡
千島
公園
落合上渡
千歳渡
落合下渡
千本松渡
船町渡
木津川渡
此花区
港区
大正区
大阪市